



## art venture ehime とは?

「art venture ehime(アートベンチャーエヒメ)」は、アート(文化芸術)を介して人と人、人と地域をつなぎ、そこから生まれる新たな価値や関係を社会に広げ“愛媛の未来を創造する”アートコミュニケーションプロジェクトです。

少子高齢化に伴う人口減少が進むなか、福祉、スポーツ、観光やまちづくりなど様々な領域にアート(文化芸術)を掛け合わせ、地域が抱える課題に愛媛県と東京藝術大学と県民が連携して取り組んでいます。

プロジェクトの主体となるのはアートコミュニケーター「ひめラー」です。多様な背景をもつ人々が集い、アートを介したコミュニケーションづくりについて学びながら、人や地域を結びつけるアートコミュニティを育むことで、ひめラーの活動が“地域の処方箋”になっていくことを目指します。

art venture ehimeは  
愛媛県と東京藝術大学と県民が  
連携して行うプロジェクトです

未来につなぐえひめチャレンジプラン  
愛媛県総合計画

東京藝術大学を中核とする  
共生社会をつくる  
アートコミュニケーション共創拠点

## よくある質問 Q&A

### Q どんな活動をするの?

- 人々のつながりを大切にした新しい対話の場(コミュニティ)づくり
- 作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム
- 愛媛県内の文化資源や地域コミュニティと連携した活動
- 医療や福祉(児童、障がい者、高齢者など)、スポーツと連携した活動
- 「とべもり+(プラス)」や「アシックス里山スタジアム」と連携した活動

皆さんの興味のある活動を、仲間のひめラーとともにアートという新しい視点で取り組むものです。



### Q どんな人が参加してるの?

会社員・教員・主婦(夫)・学生・フリーランサー、退職後の方など様々。

多様な背景や興味関心をもつ人が集い、対話を重ねることで活動の可能性が広がります。

## 「ひめラー」の活動イメージ

ひめラーは、講座で学び、気づきを振り返り、現場で実践し、仲間と集いながら活動を育むサイクルを積み重ねながら、人や地域を結びつけるアートコミュニティを育みます。ひめラーとしての活動は最長3年間。

その後は、プロジェクトの外へ活動の場を更に広げ、県内各地のフィールドで自発的に「アートで人々がつながるまち」を創っていくことを期待します。



## 学ぶこと・実践すること

まずははじめに!

### 基礎講座

2026年4月～6月 全6回

活動を進める方法や対話の場づくり、アートを介したコミュニケーションなどどのような方法や、活動のフィールドについて、実践的な場面を想定した学びを深めています。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方を、ディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めています。



全6回にわたり、新しいコミュニティづくりの基本を学ぶ基礎講座



いよいよ実践!

### 実践講座

2026年6月～2027年2月(予定)

愛媛県内のさまざまな文化芸術資源を題材に、モノやコトをよくみるための方法や、活動のフィールドについて、実践的な場面を想定した学びを深めています。実践を通して気付いたことや疑問なども振り返り、対話を重ねて進めていきます。



鑑賞実践講座

アクセス実践講座

プロジェクト実践講座

## 集うこと・育むこと

### ひめラボ

基礎講座や実践講座で学んだことや、それぞれの得意なことを持ち寄り、ひめラーの仲間と一緒に地域社会に飛び出して様々な活動を展開します。



「建築を穴が空くほど見てみたい」ラボ  
「ひめラーみんなの拠点訪問ツアー」ラボ  
「今治なにに?まち歩き」ラボ

丹下健三による建築群から、広小路、海までの都市設計を体感。当時の構想に思いを馳せつつ、今の街の姿を参加者とともに楽しむまち歩きを行いました。

## art venture ehime fes 2025との連携プログラム

2025年10月18日～11月3日に開催した「art venture ehime fes 2025」の開催に向け、ひめラーがフェスティバルを開催する地域の歴史、文化、関連施設を取材。その場所に関わってきたキーパーソンに話を伺い、それぞれの魅力を深掘りし、アートコミュニケーションブックを作成しました。

また、アーティストの制作やリサーチにも伴走し、地域との関係性の構築などを行い作品制作と共にかたちにしています。



取材の様子

アートコミュニケーションツア(現地会場説明会)の様子

